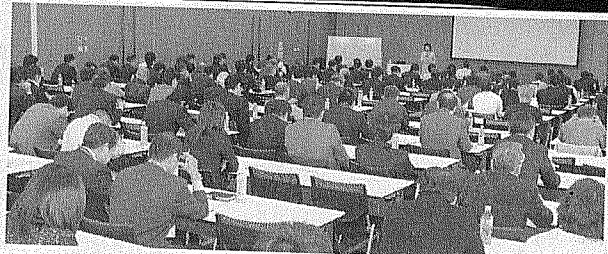


事故防止セミナー開く

三井住友海上火災保険

【大阪】三井住友海上火災保険は18日、淀屋橋odona(大阪市中央区)で「グッドカンパニーの事故防止実践セミナー」を開催。関西業務部長の西

さつし「このセミナーを通じて皆様の事故防止、事業発展に少しでもお役に立てれば」と述べた。



大阪ヘルスケアネットワーク普及推進機構理事の作本貞子氏が「すぐに実践できる健康管理と事故防止」をテーマに講演。健康起因による交通事故件数が増加傾向にあるとし、「睡眠時無呼吸症候群(SAS)の患者には、肥満者やメタボリックシンドロームとの関連性が高い」と指摘。「SASは5人に1人の21世紀の国民病」と訴えた。

その上で、企業の健康管理・労務管理対策の重要性を説明し「事故防止と健康管理は両輪と考え、一連で取り組むことでさらに効果が上がる」と説いた。

(山田克明)